

富山県  
神社庁

# かわら版

平成二十二年五月十日発行  
発行所 富山県神社庁  
編集 教化委員会広報部会



## 第九回親子参宮旅行

平成二十二年三月二十七日（土）・二十八日（日）の両日、毎年恒例の『親子で行く伊勢神宮参拝の旅』を実施しました。本年は、親子参加者六十四名、教化委員スタッフ五名の総勢六十九名の旅行団となりました。午後二時、外宮御垣内参拝に続いて内宮に向い、昨年架け替えられた真新しい宇治橋を渡り、五鈴川にて手水の後、御正殿に向かい御垣内参拝を行いました。その後、別宮参拝の後、神楽殿にて御神楽の奉納、続いて火きりと雅楽体験を行ない、その後宿舎の神宮会館に向かいました。二日目は、ナガシマスパーランドに向かい午後二時まで親子で楽しいひと時を過ごしました。

（神宮奉賛部会長 高澤正紀）

## 第二十六回小学生作文コンクール

去る三月七日（日）、富山市日枝神社において、第二十六回小学生作文コンクール表彰式が行われました。本コンクールには、県内十九校より六十一作品が寄せられ、うち特別賞五作品を含む三十作品が優秀賞を贈られました。応募頂いた小学校を市町村別に挙げると、富山市一校・立山町一校・上市町二校・黒部市二校・魚津市五校・射水市二校・砺波市四校・南砺市一校・小矢部市一校です。毎年応募頂く学校もあれば、最近参加頂けなくなった学校もあり、通算では応募数が年々減少傾向にあります。教学部会でも部会員が努力を重ねていますが、少数では如何ともしがたい現状です。県下神職各位におかれましては、お近くの小学生、特に祭礼に関わっておられる児童をご存知でしたら、当コンクールへの参加を呼びかけて頂ければ、大変有難く存じます。今回は、はからずも同一校から五名が特別賞に選ばれ、表彰式当日も全員揃って喜びの表情を見せてくれました。副賞の「親子で行く伊勢の神宮参宮旅行」にも、ぜひ五人皆で参加していい思い出を作って頂きたいものです。

（教学部会長 高倉政憲）



## 第五回教養研修会

平成二十一年九月十八日（金）午後一時より「第五回教養研修会」を開催しました。参加者は十六名でありました。講師は、清都酒造場 代表取締役 清都康介氏により、「酒造りをやってきて思うこと」と題してお話を頂きました。射水神社に正式参拝後、同参集殿にて講義の後、清都酒造場の古い酒蔵を見学。その後、吟醸酒や、大吟醸の違い等の説明と試飲を行い、酒造りに傾ける思いを美味しく味わいました。





### 女子神職会 祭式研修会

さる四月七日、富山県神社庁において河合正登講師をお迎えして、富山県女子神職会祭式研修会を開催いたしました。参加者は六名で小祭式を基本に従って研修いたしました普段知らず知らずくずれがちな作法を見直すとても充実した研修会となりました。

(四方神社 禰宜 船木泰子)



### 雅楽部 『新湊西部中学校』演奏奉仕

日時 平成二十二年二月十二日(金) 午後一時三十五分  
今回の雅楽講演は趣向を変えて、身近に演奏を感じてもらえるようにステージに登らず、同じ床にて演奏しました。加えて雅楽楽器を実際に体験してもらおう時間を多めに設けました。(船木信孝)



### 富山県神道青年会

#### 寒中禊



一月二十七日、氷見市の小境海岸にて寒中禊が行われました。参加人数は二十六名。内、私を含め二名は女性でした。天候に恵まれ、穏やかな陽射しの下全員最後まで乗り切ることが出来、今年一年無事に過ごせる気がしました。

(常磐神社 権禰宜 若宮綾加)

### ワンポイント祭式

日々の神明奉仕に於て、行事作法について疑問に思う事、迷う事があつた際どうしておられますか。

神職資格取得の講習会等で神社祭式の教本に指定された「神社本庁編 神社祭式同行事作法解説」は活用しておられますか。

神社本庁の諸規程を理解し、正しい行事作法を身に付けることが心掛けることが大切です。



昭和四十九年発行の「神社祭式同行事作法解説」か今般改訂され「平成二十二年改訂版 神社祭式同行事作法解説」(写真右 税込一八九〇円)として本年二月三日に発行されました。平成十八年から二十年にかけて、神社祭式行事作法に関係する本庁諸規程が変更されたことに伴い、内容が改められたものです。今後、祭式研修会で教本として使用しますので、是非この機会に購入されるようお勧めします。

また、規程についての詳細は「平成二十年改訂版 神社祭祀関係規程附解説」(写真左 税込一〇五〇円)を参考にされるとよいでしょう。神社祭式改正要項として、昭和四十六年と今回平成二十年の改正とが対比され、改正点や改正の経緯が詳しく解説されていますので、一層理解が深まるでしょう。

購入希望の方は、県神社庁へお問い合わせください。

(庁祭式講師 河合正登)